

## 121116 花の後には…

夏の真っ盛り、8月の上旬に、涼を求めて駆け込んだ薄暗い林の中に、小さな白い花を咲かせている、数十cmほどの高さの植物が群生していました。

その傍に、直立した150cmほどの背の高い植物が、大きな白い花を咲かせていました。

戻ってから図鑑で調べてみると…

前者は「ヤブミョウガ」、後者は「ウバユリ」ということがわかりました。

秋も深まってきた今、あの白い花はどのような実を付けているのでしょうか？

### ◆写真①： 群生する白い花

◇撮影は8月上旬です。

◇薄暗い林内にたくさんの白い花が咲いていました。

◇手前の背の高い大きな花を咲かせているのが「ウバユリ」で、それ以外のやや背の低い白い花を咲かせているのが「ヤブミョウガ」です。

### ◆写真②： ヤブミョウガの花

◇撮影は8月上旬です。

◇花の直径は10mmくらいで、色こそ違いますが「ツユクサ」の花にそっくりです。

◇淡い黄緑色の真珠のようなものも見えますが、これが果実になるのでしょうか。

◇藪のような場所に自生し、「ミョウガ」に似た葉を付けることからの命名でしょう。

### ◆写真③： ヤブミョウガの実

◇撮影は10月下旬です。

◇球形の液果が、濃い青紫色に熟しています。

◇種子だけでなく、地下茎を伸ばしても殖えることから、群生できるのでしょうか。

### ◆写真④： ウバユリの花

◇撮影は8月上旬です。

◇茎の先に、長さが100mmを超えるような緑白色の花を横向きに咲かせます。

◇命名の由来は、花の時期に茎につく葉が枯れてしまうことから、“歯がない姥(うば)”に例えてのことだと言われています。(異説もあるようです)

◇可憐さや華麗さに欠けるからでしょうか、あまり人気のある花ではないようです。

### ◆写真⑤： ウバユリの実(未熟)

◇撮影は9月下旬です。

◇まだ未熟な緑色の実です。花は水平に咲いていましたが、実は上を向いていますね。

### ◆写真⑥・⑦： ウバユリの実

◇撮影は11月上旬です。

◇熟した実は、乾燥すると三つに裂け、中に整然と収められていた扁平な種子が見えてきます。(一つの実に400個以上もの種子が入っているようです。)

◇種子の周りには膜質で半透明の「翼」が付いていますので、風に運ばれて分散する仕組みになっているのですね。













